

ユーザーへの新たな決済手段の提供により、 売上の機会損失の軽減と新規ユーザーの獲得を実現

ピクシブ株式会社は、世界中のクリエイターがイラスト、漫画、小説など自己の作品を投稿し、同じ嗜好を持つユーザー同士が交流を行える会員制のイラストコミュニケーション・サービス「pixiv」の運営と、それに関わる事業を展開しています。2005年の創業以来、世界の95%以上の国と地域で利用され、ユーザー数は4,000万人超、投稿された総作品数は8,500万点と、世界中のクリエイターたちの創作活動を支えるプラットフォームの一つです。

SUCCESS METRICS

+150%

2019年と比較した2020年の
ペイパルかんたん銀行決済比率の
拡大率

+361%

2019年と2020年を比較した
ペイパル取扱額の成長率

+423%

2019年6月と2020年6月を比較
したペイパル取扱額の成長率

Challenge

同社はpixivの他にも、クリエイターが販売する作品やグッズを購入できる創作のためのマーケットプレイス「BOOTH」や、クリエイターの創作活動を応援・支援できるファンコミュニティ「pixivFANBOX」なども運営しています。その決済手段として、以前はクレジットカードとコンビニ決済の2つをユーザーに提供していました。しかし、同社のメインユーザーである若年層はクレジットカード非保有者や、クレジットカードを保有していても使用したくない人が多く、若年層でも取り扱える決済手段を新たに提供することが、同社にとってさらなる市場拡大のための課題の一つでした。

Solution

そこで同社は、10・20代の若年層ユーザーでも約95%が保有している銀行口座に着目*1。2018年10月に、クレジットカードと同じ操作感で銀行口座からリアルタイムでオンライン決済が可能な「ペイパルかんたん銀行決済」を導入しました。クレジットカード、コンビニ決済に加え、3つ目の決済手段をユーザーに提供し利便性を高めることを目指しました。事業者側にとっては、この選択肢を用意することでコンビニ決済で懸念となる入金漏れの軽減も期待できます。

*1 一般社団法人全国銀行協会「2009年 よりよい銀行づくりのためのアンケート」

Outcome

「ペイパルかんたん銀行決済」を導入した結果、コンビニ決済比率は導入時の2018年10月と2019年では、全体に占める割合が4%減少しました。コンビニ決済ユーザーの入金漏れによる売上の機会損失の軽減にもつながり、2020年の「ペイパルかんたん銀行決済」比率は昨年対比で約150%へと増加しました。また新規ユーザー層の獲得により、同社におけるペイパルの取扱額も2018年と2019年では約260%にまで拡大しています。ユーザーにとって使いやすいサービスとして、「ペイパルかんたん銀行決済」が受け入れられています。

“ 「ペイパルかんたん銀行決済」の導入は、弊社におけるペイパル取扱額の増加から見てもプラスに作用したと思っています。本サービスは支払いをするユーザーにとって便利なことはもちろんですが、クリエイター側にとっても銀行口座に即時に入金される便利さが受容されていると考えています。また新型コロナウイルスの影響もあり、今は決済も含めて非接触型のコミュニケーションがますます求められる時代になっています。本サービスは、支払い側と受け取り側の双方にメリットをもたらしてくれています。 ”

